

教職教育とアクティブ・ラーニング

— 道徳教育の目的である「人格形成」に最適な指導法「アクティブ・ラーニング」—

内田 文夫

1. 生徒・教師が共にワクワクし、誰もが即、実践可能なアクティブ・ラーニング

①エンカウンター（明治大・諸富祥彦）②モラル・ジレンマ（兵庫教育大・荒木紀 幸）③モラルスキルトレーニング（上越教育大・林泰成）④マンガによる道徳授業（元入間道研・内田文夫）⑤命の授業（教育技術法則化・向山洋一、他）

2. 基本の「型」があってこそその「アクティブ・ラーニング」（「型破り」）

歌舞伎役者の中村勘三郎は「型（古典）」があつての「型破り」と説いた。型がなければ「型無し」とも。

- ①ベース（型）となる「パッシブラーニング」で身につける「一人で考える力」「聞く力」「対話力」。
- ②社会での事象を基にしたノンフィクションを用いた資料（駿河台大・内田）で「応答力」（明治大・諸富祥彦）の育成。

3. 教材創作・模擬授業・相互評価に特化したアクティブ・ラーニングで「楽しく、やりがいのある道徳授業」の提案

- ①教職課程受講者が卒業後、学校現場で、即対応できる、大学でのアクティブラーニングによる実践。
- ②創作方法が絞り込め、応答力育成まで可能なモラル・ジレンマ、モラルスキルトレーニング指導法に焦点化した実践。
- ③教材創作・模擬授業実践の相互評価による、他者理解力及び自己開示力の向上。
- ④アクティブ・ラーニングを教育全般に定着させる、クロスカリキュラムを中心に据えたカリキュラムマネジメント。